

農業における作業床、歩み板を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	14~15	就業場所の入口にて、さつまいもの入ったコンテナを降ろそうとした際に、足が絡まり、前方向に倒れ、ブロックに顔面を強打した。強打した際にとっさに右手を地面についた為、右手と右肩に強い痛みを感じた。（床に何か落ちていたわけではない。）	66	30 ～ 49
3	9~10	収穫用ゴンドラの上で（高さ約2m）マッシュルームを収穫して、下で受け取る人に渡す作業をしていた。不自然なポーズで作業していたため、サンテナ（マッシュルームを収穫した箱）を受け取る者が別作業をしていて渡せなかったため、サンテナを再び持ち上げたときに尻から落下して負傷した。	21	50 ～ 99
3	10~11	薬害散布中に後ろ向きにホースを引っ張り、側溝に落下し左胸を強打した。	48	1 ～ 9
4	12~13	倉庫にて商品整理の際に、ダンボール箱を移動中に転倒し、プラ鉢の入っているダンボール箱に右腕を強打して転び、右腕を3ヶ所骨折した。	63	1 ～ 9
4	13~14	ポット土詰め作業場において、空のポット容器を搬出作業中に、下に置いてあったポット容器につまずいて、前のめりに転倒した。	65	10 ～ 29
4	10~11	事業場倉庫で2階から1階へ農業資材の荷物をおろす作業を行っていたところ、倉庫の床を踏み抜いて足を突っ込み、首を捻って負傷した。	54	10 ～ 29

5	8～9	個人宅の庭の消毒に行くため、倉庫にて準備をしていた際、工具を取るために移動していたところ、地面にあったビニールシートに滑り右手で地面をつき、右手首を負傷した。	63	1～9
6	9～10	当社苗栽培ハラスで出荷作業中に、床面くぼみに足をとられ転倒した。その際、右足くるぶしを骨折した。	50	1～9
7	15～16	当農園内において、りんごの葉摘み作業中、休憩に入るため休憩場所へ向かう途中足を滑らせ転倒した際、右肩を強く打ち負傷したものである。	73	1～9
7	2～3	みかん園にて摘果作業中、みかん園全体が傾斜地であり、石に足をとられ、転倒しないように踏ん張ったとき、右足を捻って転倒し負傷した。	52	10～29
7	9～10	当社木材チップ加工場において、チップ製造機械の粉碎機内にあるスクリーンのメッシュ（大きさを揃えるもの）が破れたため、そのメッシュを交換しようとしていた。粉碎機は地面から高さ約4mの所にあるため、製造機械（約2m）の上に上がり、その場所まで渡って行こうとした。体調不良だったこともあり、突然めまいがして、バランスを崩した。その拍子に足を踏み外して床まで落下し、右半身を床に打ちつけて負傷した。	41	1～9
10	16～17	会社敷地内の農業散布練習用芝地で散布練習中に、右手に70cm程の金属ノズルを手に持ち後ろへ進もうとしたところ、法面で右足を滑らせ左肋骨を打ってしまった。	50	30～49
10	15～16	みかん畑の端の鳥獣害防止用柵設置場所斜面において、斜面を下る途中つまずき、約1m下に転落し、右足の甲を骨折した。	20	10～29
11	15～16	みかんの木に登っている人に脚立を立て掛けようとした時に、足がよろけて下の道路に落ちた。	74	1～9

12	14~15	5番ホールで、バンカー均し機械に乗り、バンカー均し作業をしていた。落ち葉清掃のため機械を停止し、左足から降りたときに地面のくぼみに足をとられ転倒し、足首を捻挫した。	21	10 ～ 29
12	10~11	当社育苗棟内にて、苗の鉢ずらし作業をしていた際、加温機のダクト（ビニールホース）に足を引っ掛けてしまい転倒し、頭部右側を強打した。	66	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html